

News Letter

経営行動研究学会会 2021年6月
第101号

第31回全国大会開催にあたって

大会実行委員長 佐々木 一彰
(東洋大学国際観光学部教授)

標記の本学会第31回全国大会を来る9月11日(土)、12日(日)に東洋大学が主催となりZOOMで開催させていただきます。東京オリンピックの開催直前である2021年7月14日現在、新型コロナウイルスは一向に終息の気配を見せず、大会開催時におきましても予想がつかないため昨年度に続き完全オンライン開催となりました。事情が許せば対面での開催の方が情報の「質」の面から見てはるかに優れていることは間違いないことではありますが状況が許さずこのような形態になりましたことは残念であります。しかしながらこのような状況下におきましても統一論題をお引き受けいただきました先生方、自由論題報告をしていただきます先生方には心より感謝申し上げます。

既にご案内しております通り、全国大会の統一論題は「企業のステークホルダーと企業統治—現状と課題の検討—」であります。意外なことかもしれませんがいままでこのテーマは全国大会の統一論題として扱われてこなかったものであります。新型コロナウイルスにより世界および日本の状況は激変しました。しかしながら、そのような状況においてこそ経営行動の原点・基本に立ち戻るべきではないでしょうか。その基本に立ち戻ってこそ先が見通せない中、先を見通すことができる手がかりを見つけることが出来るものであると思われまます。

統一論題につきましては本テーマにつきまして深い知見と、膨大な研究業績をお持ちの5名の先生方にご登壇していただくことになりました。また、シンポジウムにおきましても司会の先生方の深い知見と合わさりましてより熱のこもった議論が展開されるものと思われまます。自由論題報告は完全オンラインにも関わらず13名の先生方に様々なテーマでご報告いただくことが確定しており、重ね重ね感謝申し上げます。

今年も大会の開催は完全オンラインとなりますが、大きなトラブルが無いように注意をはらってゆく所存であります。どうぞ万障お繰り合わせの上ご出席賜り、議論を深めていただきたく存じます。

経営行動研究学会 第31回全国大会プログラム

統一論題：企業のステークホルダーと企業統治—現状と課題の検討—

日時：2021年9月11日(土)・12日(日)

主催：東洋大学 Zoom によるオンライン開催

開催校：大会実行委員長 佐々木 一彰 (東洋大学国際観光学部教授)

【 第1日目 2021年9月11日(土) 】

◆ 理事会：9:30~10:10

<自由論題(1) 10:20~11:05 (報告30分 コメント・質疑 15分)>

オンライン会場	A会場	B会場	C会場
テーマ	「コモディティ化する成熟市場のビジネスモデル」	「倒産企業におけるリブランディング戦略の有効性と限界—アパレル企業のエンゲージメント効果に沿って—」	「中漢方製薬企業における海外事業展開戦略の一考察—ツムラと北京同仁堂の事例を踏まえて—」
報告者	山田英夫(早稲田大学) 大木裕子(東洋大学)	柏木理佳(戸板女子短期大学)	呉 驕宜(桜美林大学大学院)
司会・コメンテーター	日野 健太(駒澤大学)	日野隆生(東京富士大学)	金山 権(桜美林大学)

<自由論題(2) 11:10~11:55 >

テーマ	「日本におけるスマートシティの本質とその可能性」	「ネパールにおける海外労働者及び彼らの家族に対する金融リテラシーの現状と課題」	「専門職組織のフレキシブルなマネジメントに関する一考察」
報告者	森 勇治(静岡県立大学)	カルキ・シャム・クマル(創価大学助教)	鍋谷操一(法政大学大学院)
司会・コメンテーター	森 忠彦((独)人都市再生機構)	丹野 勲(神奈川大学)	石毛昭範(拓殖大学)

昼 食 11:55~12:50

<自由論題(3) 12:50~13:35 >

テーマ	「台湾における経営環境と企業の経営行動」	「感情労働研究とストレスマネジメント—客室乗務員職にフォーカスして—」	「ステークホルダー資本主義を实践する経営」
報告者	當間政義(和光大学)	安宅真由美(東洋大学)	佐藤 剛(全米取締役協会会員)
司会・コメンテーター	高垣行男(駿河台大学)	加藤美里(愛知工業大学)	石崎忠司(松蔭大学)

自由論題 (4) 13 : 20~14 : 05

テ ー マ	「中国進出日欧米銀行におけるエンゲージメントの向上—評価制度導入の観点から—」	「東芝のコーポレート・ガバナンスに起因する問題点とその影響力」
報 告 者	蔡 怡(桜美林大学大学院)	青木 崇(大阪国際大学)
司会・コメンテーター	齋藤 毅(金沢大学)	確認中

【統一論題報告】 (報告30分・質疑5分)

14 : 15~14 : 50 統一論題報告 I

「SDGs(持続可能な発展目標)とコーポレート・ガバナンス枠組みの関係性について」

報告者 : 柿崎 洋一(東洋大学教授)

司会者 : 大平 義隆(北海学園大学教授)

14 : 55~15 : 30 統一論題報告 II

「ステークホルダー理論とコーポレート・ガバナンス」

報告者 : 勝部 伸夫(専修大学教授)

司会者 : 池内 秀己(九州産業大学教授)

15 : 35~16 : 10 統一論題報告 III

「ステークホルダーの基本的理解と企業統治の課題」

報告者 : 厚東 偉介(早稲田大学名誉教授)

司会者 : 浅井 紀子(中京大学教授)

16 : 15~16 : 55 会員総会

16 : 55~17 : 15 理事会:新理事承認後の会長の選任について

【 第2日目 2021年9月12日(日) 】

<自由論題 (5) 10 : 00~10 : 45 >

オンライン会場	A会場	B会場
テ ー マ	「中小企業による部品の安定供給と産業人育成—航空機製造産業を事例として—」	「インドのコーポレート・ガバナンス・コードの改革についての考察」
報 告 者	下畑浩二(相愛大学)	グラガイ・ラクシュミ・ナラヤン(法政大学大学院)
司会・コメンテーター	佐々木利廣(京都産業大学)	金 在淑(日本経済大学)

統一論題報告(報告 30分・質疑 5分)**10 : 55~11 : 30 統一論題報告 IV**

「ステークホルダーとしての従業員」

報告者：野村 千佳子(山梨学院大学教授)

司会者：竹川 宏子(兵庫大学)

11 : 35~12 :10 統一論題報告 V「米国流株主主権ガバナンス対日本的ステークホルダーガバナンス
—エージェンシー理論 vs ダイナミック・ケイパビリティ論—」

報告者：菊澤 研宗(慶応義塾大学教授)

司会者：上野 哲郎(和光大学教授)

昼食 12 : 10~13 : 10**13 :10~15 :15 【統一論題シンポジウム】**

「企業のステークホルダーと企業統治—現状と課題の検討—」

パネリスト： 柿崎 洋一 (東洋大学教授)
勝部 伸夫 (専修大学教授)
厚東 偉介 (早稲田大学名誉教授)
野村 千佳子 (山梨学院大学教授)
菊澤 研宗 (慶応義塾大学教授)

総合司会者： 亀川 雅人 (文京学院大学副学長,立教大学名誉教授)
青木 英孝 (中央大学教授)

閉会式 15 :15~15 :25**【参加費等について】**

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策により対面ではなく、オンライン開催のため、会員の参加費は無料と致します。

研 究 部 会 報 告

○第 117 回研究部 2021 年 4 月 10 日 (土) オンライン開催 (早稲田大学) 14 時~

●テーマ「ウィズコロナ時代における経営戦略の考察」報告者：高橋 文行 (日本経済大学)・司会・コメンテーター：田中 克昌 (文教大学)

高橋先生のご発表は、「ウィズコロナ時代」という経営環境の変化に対応し、持続的成

長を実現するための経営行動について考察するという大変大きなテーマで意欲的な取り組みであった。考察にあたっては、従来の競争戦略では対応しきれないという指摘や、「社会的価値の創出」として、CSRやSDGsへの取り組みを重視し、その中で、「CSVの再考」の必要性を主張し、持続的成長を実現するサステナブル経営戦略を提言がなされた。

一方、タイトルから期待される内容は、COVID-19が「ブラックスワン」として企業に降りかかってきたことに対して、企業が新たに対応し続けなければならない経営戦略という内容ではないだろうか。提言のあった「サステナブル経営」はSDGsへの注目が集まる中で、企業が従来から重要と認識し、取り組んできた内容である。また、CSVに積極的に取り組んでいた企業もCOVID-19によって大きな影響を受けており、必ずしも、提言が時代に合っていないようにも考えられる。高橋先生には、ウィズコロナ時代であるからこそ求められる経営戦略について、ご専門である「コンペティティブ・インテリジェンス」の視点から、さらなる考察を進めていただきたい。（記：文教大学 田中 克昌）

●テーマ「中小企業経営へのCSR(企業の社会的責任)・SDGs(持続可能な開発目標)の統合に対する現状と課題—ケーススタディに見る予備的考察—」報告者：藤野 洋(西武文理大学)・司会・コメンテーター：石崎 忠司(松蔭大学)

本報告は、中小企業にCSR・SDGsを定着させるために、製造業を中心にサプライチェーンおよびバリューチェーンを利用して、大企業が中小企業に影響力を行使することを提起している。そのためにCSRを徹底した先進的中小企業を多数紹介し、具体的な取り組み方法を示している。

事例研究を通じて、①中小企業のCSRに関する規格への準拠の認証取得の重要性、②非営利組織や地域経済団体(商工会議所・商工会、税理士・社会保険労務士等)の中小企業への支援の必要性、③本研究のキーポイントであるサプライチェーンにある中小企業に対する大企業のCSR購入の有効性を明らかにしている。

報告者の藤野氏はコンサルタントとしての経験が豊富で、内容が実践に裏打ちされているとともに、結論として挙げられているCSR・SDGsの普及・支援の方向性も具体的で分かりやすい。（記 松蔭大学 石崎 忠司）

◇次回開催予定◇

●第118回研究部会

◆日時：2021年6月26日(土) 開催形態：オンラインZoomミーティング

(部会開催校 日本大学経済学部)

出席申込者にZoomURL, ミーティングID: パスコードを通知

◆報告 40 分, 質疑 30 分

① 14:30~15:40 : テーマ「トヨタ自動車とパナソニックの経営戦略」

報告者 : 日隈 信夫 (中央学院大学)

司会・コメンテーター : 金子 勝一 (山梨学院大学)

② 15:50~17:00

テーマ「ポピュレーション・エコロジーは組織の研究になにをもたらせるのか？」

報告者 : 日野 健太 (駒澤大学)

司会・コメンテーター : 山中 伸彦 (立教大学)

◆研究部会 (オンライン開催) 発表申し込みの募集◆

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に鑑み, オンライン (Zoom) にて部会を開催いたします。

発表をご希望の方または推薦をお願いいたします。

報告予定月の3カ月前までにお申し込みください。オンラインでの開催ですので, 地域に限定されず, 全国からお申込みください。皆様のご応募をお待ちしております。

1. 申込締切日 : 3カ月前まで

報告予定月・研究部会 (2021年10・12月・2022/4)

中部部会、関西部会、九州部会

2. 以下を記載し, メールまたはファックスでお申込み下さい。

①お名前・ ②ご所属・ ③テーマ:

3. 申込先: 経営行動研究学会 事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8-707

TEL. 03-3263-2586 FAX. 03-3263-4466/e-mail: jarbab@alpha.ocn.ne.jp

研究委員会委員長 上野哲郎: tueno@wako.ac.jp

◇新刊書・翻訳 (学会会員著) 紹介◇

- ・ 菊池 敏夫 ・ 櫻井 克彦 編著『新 企業統治論』税務経理協会, 222 頁, 2021 年 4 月 24 日発行, 価格 3,300 円 (税込)
- ・ 丹野 勲 著『日本の国際経営の歴史と将来—アジアとの交易・投資の通史と国際交流—』創成社, 280 頁, 2021 年 5 月 28 日発行, 価格 3,080 円 (税込)

<新入会員ご紹介のお願い>

経営行動研究学会では新入会員を募っております。当学会は、昭和49年(1974年)に4人の研究者からなる研究会から始まった「環境と経営の会」を母体として、平成3年(1991年)に発足いたしました。平成29年(2017年)7月には、創立31年目を迎えます。経営学の専門化や細分化の進展とともに、それに対応した学会も数多く設立されてきました。一方で、営利・非営利を問わず経営行動それ自体の研究を、経営学だけではなく、多くの関連学術領域の観点から行なう必要性が広く社会的に認識され、その要請に答えようという学会設立の趣旨はますますその重要性を増していると考えられます。混迷を深める社会的な動向の中で、経営行動に関する基本的な思想およびその実践の再構築が求められています。

経営行動に関する研究は、一方で理論的な方法で、もう一方で実証的・実際的な方法で進められるべきであると考えられ、アカデミズムと実務界の研究者の参加と協力が強く望まれています。これまで、学会は広く学界ならびに実務界の研究者のご賛同とご協力を得て、運営されてきました。2021年6月現在、法人会員4社、個人316名、院生会員37名、海外在住会員8名となっています。現会員には、是非、賛同者のご紹介をお願い致します。学会に新しく入会を希望される方や学会の組織・運営に関心のある方は、是非、学会事務局にご連絡下さい。

なお、学会ウェブサイトより、入会申込書をダウンロードできますので、ご利用下さいませようお願い申し上げます

(<http://www.jam1991.org/kakusyuousikomisyu.html>)

組織委員会委員長 金子 勝一

<所属機関変更一覧>

氏名	新所属機関
岩淵 護	青森大学 附属総合研究所
大熊 省三	昭和女子大学大学院 教授
大平 浩二	明治学院大学名誉教授
カルキ・シャム・クマル	創価大学経済学部助教
カandel・ビシュワ・ラズ	名古屋外国語大学

下畑 浩二	相愛大学
高橋 義郎	高橋マネジメント研究所 代表
吉沢 正広	川口短期大学

< 会員消息 >

〔叙勲〕

本学会会員，早稲田大学名誉教授 川邊信雄先生には令和三年春の叙勲に際し，瑞宝中綬章を受賞の栄に浴されました。経営史の領域における研究業績に対して授与されたものであり，会員の皆様とともにお祝い申し上げます。

◆会報委員会よりのお知らせ◆

「News Letter」は，完全電子化に向け計画中です。今後は紙媒体ではなく本学会ホームページ <http://www.jam1991.org> にてご覧いただく予定です。お手数ですが，メールアドレス未登録の会員各位については学会事務局に連絡いただけますようお願い致します。

< 住所・所属等変更の連絡方法について

会員情報に変更がある場合には変更前と変更後を並記の上メールにて事務局宛にご連絡下さい。

< 学会報委員会委員 >

委員長 野村千佳子，委員：青木英孝，加藤 巖，坪井明彦，飛田幸宏，松原日出人

発行 経営行動研究学会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8

東京中央ビル7F707号 経営行動研究所内

2021年6月30日発行

TEL. 03-3263-2586 FAX. 03-3263-4466

<http://www.jam1991.org> / e-mail : jarbab@alpha.ocn.ne.jp

印刷 経営行動研究所 TEL. 03-3263-2586